



会津磐梯山の大爆発を見ると・・・

明治二一年会津磐梯山は、地鳴りなどの前兆現象があつたが、特に問題視されなかつた。半月後に大爆発。山体崩壊となり、川がせき止められ、松原湖、小野川湖や五色沼等ができた。この時、四七七人も死亡。

セントヘレンズ火山

米国のワシントン州にセントヘレンズ山がある。一九八〇年、地震を契機に避難命令が、一部の住民は「噴火はない」と避難を拒否。二ヶ月後に山が四百mも低くなる大爆発。多数の住民が九mの灰の下になつた。

川内原発では

川内原発の再稼働申請については、周辺のいくつかの巨大カルデラの巨大噴火を巡って

論議がされた。原子力規制委は監視を強化すれば噴火の前兆の把握は可能と云う。しかし、日本火山学会は噴火の数年前に予測することは不可能と云う。噴火するかも・・・

もし、噴火の予兆を捉えた学者がいたとしよう。

それに対し、原発側が「噴火には至らない」と云う火山学者を担ぎ出せば、議論は果てしない。

短期で決着がつくとも思えない。そうこうしている内に、『想定外の噴火』となるのでは？

例え、噴火の前兆だと原発側が判断しても、短期間に全燃料棒を抜いて安全な所に輸送できるか？
みなさんはどう思われますか？

高浜原発が見える

福井県大飯郡高浜町

二〇一四年一〇月



小浜町の対岸には大飯原発があり、西には高浜原発がある。

高浜原発への冷却水の取水路を渡り、半島の先端に近い帯ヶ崎から、高浜原発一、二号機が目の前だ。その間の海には釣りの為の筏が浮かべられている。釣り客の為、トイレもついている。

栈橋にはダイビングをした客が戻つて来た。原発まで僅か一キロ。事故があつたら逃げるにも原発の傍を通らなければならぬのだ。

